

現在、脳神経内科では、バイオバンクご協力者からいただきました検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。協力意思撤回のお申し出・連絡により不利益が生じることは一切ありません。

【研究課題名】

脳血管障害とイソフラボン代謝産物との関連の検討

【研究対象者】

2011年1月1日から2023年3月31日までの間に、脳梗塞（一過性脳虚血発作を含む）、脳出血、頭頸部動脈狭窄・閉塞症、くも膜下出血、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、静脈洞血栓症、もやもや病あるいは、その疑いの診断で外来受診、入院した患者さん。

【利用している検体・診療情報等】

（検体）匿名化された血液試料（血清 500μL）

（診療情報等）診断名、年齢、性別、生年月、身長・体重・腹囲、内服薬、血圧、日常生活活動度の modified Rankin Scale (mRS) スコア、脳卒中重症度の NIH Stroke Scale (NIHSS)、既往歴、併存疾患名、血液検査（血球数、生化学検査、凝固検査、イソフラボン代謝産物など）、画像検査（MRI または CT など）、認知機能検査、生理検査

【試料・診療情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【利用の目的】（遺伝子解析研究： 無 ）

バイオバンクで保存された血清で大豆イソフラボン代謝産物を測定し、脳血管障害病型、血液検査、頭部画像検査などの臨床情報との関連を見出すことによって、脳卒中の新規予防・治療法の開発につなげることを目的としています。

【外部機関への情報等の提供】

（委託機関に試料・情報の提供を行う場合）

イソフラボン代謝産物のため、以下の委託機関に血清を提供します。提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

委託機関名：九州プロサーチ有限責任事業組合

提供方法：郵送・宅配

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179
E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

【利用期間】

研究許可日より 2025 年 3 月までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：脳神経内科 医長 服部 頼都

研究内容の問い合わせ担当者：脳神経内科 服部 頼都

電話 06-6170-1070（代表）（内線 60316）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp